

2020年の感謝祭のサブタ

ジャイヤ・サイバート

「テンプルでの一日」から

2020年11月26日 木曜日

ナマステー、アジア。

ナマステー、アフリカ。

ナマステー、オセアニア。

ナマステー、北米。

ナマステー、南米。

ナマステー、欧州。

ナマステー、南極大陸。

そしてこの美しい言葉はインドから全世界への贈り物ですから、インドにとっても、とても特別なナマステー。ナマステー——私の中の神性があなたの中の神性をたたえます。

私の名前はジャイヤ・サイバートです。皆さんにこうしてお話することを最高に光栄に思っています。今日の私たちのお祝いは感謝祭の精神に忠実なものでした。私たちは、揺るぎなく私たちに豊かさを与える母なる地球に感謝を表してきました。私たちはシッダ・ヨーガの家族として集い、「テンプルでの一日」に参加しました。それは SYDA ファウンデーションによって制作され、ライブ動画配信で行われました。シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールにいることは、あなた自身の心の聖堂の中にいるのと同じくらい貴重なことです。

グルマーイ、この歴史的な日と、シッダ・ヨーガの歴史において忘れられない瞬間をくださり、ありがとうございます。私は、この 16 時間テンプルにいる一日で、あなたが私たちの心の深く、言葉に出さない切望を明らかにしてくださったと感じています。

グルマーイ、あなたは私の夢をかなえてくださったこともお伝えしたいと思います。私はバーバ・ムクターナンダとあなた、グルマーイが、1930 年代、40 年代、50 年代、60 年代、70 年代、80 年代、90 年代、そして 2000 年代の初めに、よくサプタを行ったととても長い間、聞いてきました。私は今日の一日中のサプタに参加したことで、非常に伝説的なサプタの精神がいかに人々のサーダナーを飛躍的に促進したかを、とうとう体験できたと感じています。

私はまた、次から次へとサプタを実施した元 SYDA ファウンデーションのスタッフメンバーと訪問セーブァイトに、さらに大きな感謝の気持ちを得ました。今、それがどれだけ努力のいることであったかを理解したのです！ シッダ・ヨーガの道に新しい方々には、シッダ・ヨーギたちがシッダ・ヨーガの教えと修行を世界中の人々が行えるよう何十年も信じられないほどのセーブァーをささげていることを知らないかもしれないので、このことを特に伝えておきたいと思います。

「テンプルでの一日」は、「シュリー・グル・ギター」の朗唱で始まりました。優しくも絶え間ない雨がシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムの敷地に降り、この感謝祭の日の大地を祝福していました。一日を通して、シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールの皆さんがシッダ・ヨーガの修行をしたので、既にしびれるようだったテンプルの雰囲気は、ますます明るく輝きました。

このイベントのディレクターチームのアリア・パクストンとシェルビー・キンデムは、皆さんに手紙を送り、言いました。「この日あなたが、どれほどの時間をテンプルの中にいるために取ることができても——どうぞそれが最良なのだと知ってください」。それを讀で、私たちのテンプルでの

感謝祭の日を振り返っている時、私はグルマーイが引用した 16 世紀のインドに生きた詩聖トゥルシーダースのドーハ、つまり対句を思い出しました。

トゥルシーダースは言う、どんなに短時間でも偉大で高貴な存在と共にいることは、すべての罪と不純なものの一つを取り除く力がある。

インドでは昨日、ヴィシュヌ神の信奉者たちが彼らにとってとても大切に神聖な祝祭日を祝いました。この祝祭日はプラボーディニー・エーカーダシーと呼ばれています。太陰暦のカールティクの 11 日目に祝われ、ヴィシュヌ神が4カ月の眠りから目覚める日の到来を告げるものです。この日は雨季の終わりを表し、サトウキビの収穫と結婚式の季節の始まりです。ヴィシュヌ神の熱心な信奉者たちは、特にマハーラーシュトラ州では、歌って、歌って、歌って、彼の栄光をたたえます。

私はシッダ・ヨーガの道に従い始めて以来、シッダ・ヨーギが認識し、祝うすべてのお祝いは、私たちの決意を強め、神をたたえ、私たちが生来持つ美德を培い、シッダ・ヨーガの修行をより大きな気づきを持って行うために行っているのだと学びました。

シッダ・ヨーギたちはどこでこの知識を得たのでしょうか？ シッダ・ヨーガのグルたちからです。

とても多くのシッダ・ヨーギ——シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムのスタッフメンバーと世界中のシッダ・ヨーギたち——が、このイベントを手助けするために彼らの技術や才能を提供しました。その並外れて輝かしい貢献者の皆さんに感謝します。皆さんはこの「 temple での一日」を最も輝かしいものとししました。

皆さんに伝えたいことがあります。シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールで一緒に集い、シッダ・ヨーガの教えを熟考し、シッダ・ヨーガの修行に次から次へと取り組むことで、私たちは一緒に、私たちが生み出した祝福と善意のエネルギーがこの世界に流れ出る門戸を作ったのだと感じています。

私たちの集合的意図とサーダナーの善意の力は、この地球に住むあらゆる生命の向上につながる、真に継続するポジティブな変化を作り出します。そしてこの地球は、私たちの善い行いに感謝してくるように感じます。

この「 temple での一日」の間、私たちは皆、真の意味で感謝祭の祝宴をどのように準備し、参加すべきかを学びました。

それはまさに完璧だったのではありませんか？

この一日のそれぞれの料理や要素は、ちょうど良かったのではありませんか？ アーユルヴェーダの料理のすべての六つのラサ、そして他の繊細さと感性と風味のニュアンスが、「 temple での一日」を通して完璧にちりばめられていました。私たちの感覚、マインド、心、魂は満たされました。

天国はどのような感じでしょうか？

深い静けさに没入しているマインドはどのような感じでしょうか？

美德に染められた人生はどのようなものでしょうか？

空の光はどこから現れるのでしょうか？

大いなる自己の光はその光輝をどこに浸透させるのでしょうか？

儀式はなぜそれほど重要なのでしょうか？

音楽の響きと私たちが朗唱する神聖な音節はどのように私たちの無気力な態度を活性化させるのでしょうか？

感謝の涙はどのような味がするのでしょうか？

誰が味わっているのでしょうか？

誰が見ているのでしょうか？

誰が聞いているのでしょうか？

誰が匂いを嗅いでいるのでしょうか？

誰が触れているのでしょうか？

この日、ユニバーサル・ホールで、バデ・バーバの面前で、そしてグルマーイの豊かな恩恵と祝福と共に、私たちは皆、私たちの感覚の支配者であるその存在を体験しました。

「アートマー・キー・プラシャーンティ」は、この幸せな感謝祭の日に明るく輝きました。

シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールに今日いることにささげたあなたのすべての瞬間から生まれた恩恵が、10倍、100倍、1000倍にもなるように望み、祈ります。

あなたの感謝の気持ちが—今も、さらに永遠に—続きますように。

サッドグルナートウ・マハーラージ・キー・ジェイ！

